

令和5年4月11日

保護者各位

釧路市立芦野小学校
校長 高畠 昌之

地震・津波災害時の対応について

自然災害や他国がらみの危険危機等はいつ起きるか分かりません。事前に心構えと環境の準備をしておくことは非常に重要です。そこで、「Jアラート警報発令」による危機回避に続いて自然災害の危機に対する対応についての確認をしたいと思います。

さて、令和2年4月に日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会において、千島海溝沿いの巨大地震の想定がマグニチュード 9.3、その場合の釧路市における津波の高さが最大 20.7mであると報道されました。釧路市危機管理課が平成29年度に発行した「釧路市の防災の基本的おさえ」にもとづき、本校においても避難訓練等を通して主体的に危機への対応ができる防災意識の醸成を図っているところです。

つきましては、以下の芦野小学校の対応について、あらためて各ご家庭でご確認いただけますようお願いいたします。

芦野小学校は、大津波警報発令時の緊急避難施設となっています。

登校前

☆**震度5以上の地震発生** または、
大津波警報・津波警報発令のときは、臨時休校です。

休日も含め少年団活動は活動停止 津波注意報の場合は**自宅待機**

※発生時刻によって「通常登校」、「時間差登校」の対応をとることがあります。

津波警報（注意報）が解除になり、地震後の通学路の安全が確保された場合は、対応についてメール配信いたします。何も連絡がない限り、臨時休校（自宅待機）になります。また、報道機関の情報も活用してください。

登下校

- 大きなゆれを感じたら身を守る行動をとる。
- 自宅に近い場合は自宅に戻る。（緊急の場合はどこの家にも助けを求める）
- 近くに小学生や小さい子がいたら、一緒に行動する。
- 緊急避難場所の一番近いところへ逃げる。

在校中

- 児童の安全に全力をあげて対処します。
- 基本的に震度5以上、大津波警報、津波警報発令で学校待機となります。
（上記以外は震度や津波注意報の有無、校区の状況から集団下校等の措置をとることがあります。）
- 大津波警報、津波警報時は校舎3Fに全校避難します。
- 通学路の安全や地域の被害状況が軽微な場合は、一斉下校いたします。
- 通学路の安全や、保護者宅の被害状況が掌握できない場合は、学校待機をいたします。保護者のお迎えを原則といたします。